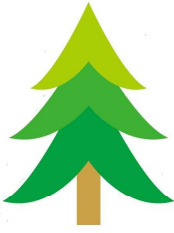


市民参加でまちを変えよう！



No. 10

# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会会報

2011年12月5日

発行

向日市寺戸町辰巳4-1

101号室 杉谷ひろば

TEL: 090-8384-5984

「原発はいらない！全国の女性たちの座り込み」を激励  
(11月2日、東京・永田町の経済産業省前)



向日市議会12月定例会が開会  
まちづくりについて  
徹底した市民への説明を！

## 12月議会での焦点

### 1 公共下水道工事トラブルの損失2億円を全額市民負担にしたことについて、真相究明をめざします。

前田地下道（東土川交差点に向かいJRをくぐる地下道-幼稚園バスが水没した所）下の雨水下水道工事で2008年にトラブルがあり2億円の損害が出た件で、当初調査会社に損害賠償請求すると言っていたのが、後に一転、裁判をとりやめ全額を市民負担にした事件。以降、住民監査請求も行われ議会でも問題となりましたが、市長からまともな説明はなされませんでした。ところが9月に、「裁判をすれば勝てる」という内容の向日市の顧問弁護士の中間報告書が暴露されました。

「なぜ裁判で市民の税金を取り返す努力を放棄したのか？」議会の求めで11月29日に開

かれた説明会でも、市長から肝心な説明はなされませんでした。真相究明へ議会の姿勢が問われています。私は一般質問で取上げます。

### 2 公立第3保育所を閉園してしまっ良いのか？

2013年4月に新民間保育所が開設されると同時に公立第3保育所を閉園する方針を市が表明しましたが、突然の閉園方針に対し、保護者の方々から批判が出ており、議会へ請願が出される予定です。閉園には様々な問題があり、私も今議会で取り上げます。

### 3 予算の補正について（一部紹介）

- ①勝山中学校南校舎耐震化工事費 2,700万円
- ②生活保護費の増額 1億3,400万円

### 4 廃棄物の減量および適正処理に関する条例の改正提案（大規模事業者が対象）

#### 連絡先

TEL 090-8384-5984(携帯)

FAX 075-932-1325

メール peace@fa2.so-net.ne.jp

HP <http://sugi.pupu.jp/>



#### 議会の予定

- 12月8(木) - 12(月)・一般質問(10時~議会)
- 杉谷議員は、12月9日(金)午前の見込み
- 12月20日(火)最終本会議・採決

# 12月議会で予定の 杉谷議員の一般質問

(12月9日午前の見込み)

## 1 向日市が使う電気を入札で安く購入し、その削減費用で市内巡回バスを走らせることを提案します

向日市の施設で使用する電力を、原子力発電に依存する関西電力に頼らず、一般競争入札で安く購入することを9月議会で提案しました。その後の調査で、一般競争入札により関西電力以外から電気購入している多くの自治体で、大幅な経費削減を実現していることがわかりました。京都市では昨年度合計2億2069万円、22.1%の削減。大阪市では60施設で4億1712万円、20.3%の削減など、20%以上の節約をしています。向日市で対象となる施設の昨年度の電気料金は約1億円。もし20%の電気代の削減ができたなら、年間2000万円の効果があります。この削減費用で巡回バスを走らせましょう。



## 2 第3保育所の閉園問題－公立保育所から民間保育所への置き換えに反対

向日市は、新民間保育所の開園と同時に公立第3保育所を閉園する方針を打ち出しましたが疑問です。公立第3保育所の今後のあり方については、保育の直接の当事者である保護者・保育士との十分な話し合いの中で決めるべきではないでしょうか？

私は、第3保育所を閉園することに反対です。待機児解消のため、民間保育所を新設するとの説明にもかかわらず、今回の市の方針では、定員増を伴いつつも、公立保育所から民間保育所への計画的な置き換えです。この間の経過を見ると、財政の都合が優先され、主役であるべき

子どもたちにとってどうなのかの検討が後回しにされているのでは？保護者のみなさんの不安も、ここに原因があるのではないかと考えます。

## 3 公民館、コミュニティセンターで議会報告等を行えるよう求めます

市会議員は、主権者である市民の皆さんに対して、議会活動の報告をおこなう責務があります。その一つとして、市民誰もが参加できる議会報告会は、それが議会として開催するものであっても、一議員や議員グループが開催するものであっても、大変重要なものだと思います。それは市民の知る権利を保障する手段の一つです。

ところが、向日市は公民館で議会報告会を行うことは「政治活動である」として、これまで使用を認めて来ませんでした。これは不当な使用制限です。市民の「知る権利」を保障させるため、こうした使用制限を撤廃し、市民の身近なところで、議会の報告会を開催できるようにしてゆきたいと思います。

## 4 公共下水道工事での2億円損失問題に関し、真相究明のため市民に対する説明責任を果たすよう市長に求めます

公共下水道工事での2億円損失問題の処理をめぐり、顧問弁護士による「中間報告書」の内容が明るみに出されました。この中間報告書には、市が損害賠償請求裁判を放棄した根拠とされた「最終報告書」とは、全く逆のことが書かれてあります。

すなわち中間報告書では、「調査会社であるJRCにも向日市にも責任がある」という判断が、最終報告書では「JRCにも向日市にも責任はない」と180度変わり、中間報告書では「JRCの法的責任を追及することは可能」とされていたものが、最終報告書では「法的責任を追及することは困難」と結論がひっくり返ってしまいました。

この中間報告書から最終報告書へ書き換えがされた内容について、調査会社であるJRCの責任を明確に指摘した記述がほとんどすべて削除されてしまったことなど、重大で不自然な点がいくつもあります。こうした点について市長に説明を求めます。

度重なる議会や議員の要求に、市長は説明責任を回避してきましたが、この態が続くなら、議会としてどうするのが問われています。



# 市民参加で まちをつくる会 11月例会の報告

11月12日、市民参加でまちをつくる会の11月例会が行なわれました。テーマは「向日市の道路問題を考える」。

まず市民アンケートから、生活道路や歩道の整備が、向日市民が最も不満に思い、改善を求める事項であることが報告されました。

次に、向日市で改善整備が計画されている道路、昨年度国の交付金を使って生活道路30カ所を整備したことなどが報告されました。しかし、向日市の道路事情の悪さを象徴する物集女街道は全く見通しがありません。また生活道路や歩道の整備も、今年度はまとまった予算見通しがないことから、私たち市民が具体的に問題箇所を指摘して対策を求めていくことが必要だと話し合いました。その後、自由にまちのことについて意見交流しました。出された意見から一部紹介します。(★は後で調べた内容・回答です。)

## ●物集女の阪急バス減便

市内南部のバス路線廃止が問題になっているが、物集女から東向日駅に行くバスも1日1本だけになった。昔は1日に10本くらい走っていたのに、どんどんなくなっていく。

## ●電柱地中化の話は検討されたのか

歩道の電柱が大変じゃまだ。以前、電線を地中化して電柱を無くすと提案していた議員がいた。市の方で事業費の計算など検討がされたことがあるのか？

## ●通り抜け道のない宅地開発

最近の宅地開発は、通り抜け道路のないドン突きの構造の開発が多い。防災安全上も良くないので、規制・指導できないのだろうか。

## ●野辺坂の石畳の道の失敗の原因は？

野辺坂の石畳の道は、石畳をはがして工事しているが、失敗の原因は何だったのか。施工方法が悪かったのか？市民のチェックが必要ではないか。

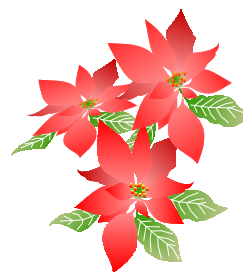
## ●琴の橋の閉館時間と送迎バス時間のずれ

老人福祉センター・琴の橋の閉館は午後4

時なのに、送迎バスは最終3時28分発だ。どうして？

★送迎バスは、桜の径に駐車場を確保しており、桜の径から出発して琴の橋を經由し最終、

桜の径に4時着とするため、この時間になるとのこと。現状ではやむを得ないとのことです。



## ●放置された空き家問題

荒れたまま放置されている空き家が増えている。更地にすると税が上がるから、そのまま放っているらしい。美観上も治安上も良くない。自治体によっては、制度上の対策をしている所があると聞くが、どうか？

★和歌山県で今年7月に、全国で初めて景観を悪化させる廃屋などの撤去を知事が所有者に命令できる「景観支障防止条例」が制定されました。京都府では条例化されていないため、現状では法的な対応はなかなか難しいとのこと。なお、向日市では空き地に対しては「あき地の雑草等の除去に関する条例」があります。

## ●地域における公立保育所の役割について

民間保育所を建てて、公立保育所を閉園するという話を聞いたが、地域における公立保育所の役割について、しっかり見直しする必要があるのではないか。京都市では、しんどい事情がある子は公立が受ける。私立も公立と同じ基準というが、人員の加配も本当に公立と同様にされるのだろうか？

## ●議会だよりー議会もやっと本気になった？

議会だよりが、A4の冊子になって、本気でやるようになったという印象だ。

## ●水道水の水色の原因は？

ここ5年くらいのことだが、洗面台の色が水色になる。他の人も言ってる。水道部の人に来てもらったこともあり、水質に問題は無いと言われたが、心配だ。

★水道局に問い合わせた所、蛇口からの水道水が水色になるのは、多くの場合、給湯器の内部配管に使われている銅管の錆＝緑青(ろくしょう)によるものだそうです。

## 市民参加でまちをつくる会12月例会

■12月10日(土) 10時~12時

■寺戸公民館・中会議室

## 向日市まつりで 原発・放射能問題のパネル出展

11月19-20日の向日市まつりで、有志で「原発事故・放射能被曝」パネル展をしました。「福島原発は今どうなっているか?」「福井の原発で事故がおこったら」「低線量内部被曝の危険」「原発なしでも電気は足りている」「原発止めよう一声をあげる人々」など、写真や資料約50点を展示しました。子どもむけコーナーでは、例年の折り紙に加えてぬり絵も準備。昆虫や動物の折り紙・ぬり絵を作り、大きな福島の草原の台紙に貼ってもらいました。「放射能はいりませ



ん。早くきれいな福島に戻して！」の願いをこめて。

## 杉谷議員の行政視察報告

11月16-17日、山口県周南市と佐賀県鳥栖市に行政視察に行ってきました。

周南市では、一般市民むけに「わかりやすい予算解説書」という冊子を5年前より発行しています。市がその年に行う事業を写真入りで説明し、また市の財政状況に関する資料も。ホームページに掲載すると共に、無料で市内の公共施設や店舗に置き、自由に市民が手にできます。

お金の使い道を市民にできるだけわかるように伝えよう、という努力はたいへん重要だと感心しました。向日市の予算説明書は、項目と金額が羅列されただけのもの。そもそも市民向け

に配布されていません。「市民参加のまちづくり」のため、まちの情報、特に予算の使い道を市民がわかるよう検討していきたいと思います。



周南市役所玄関一行き先の部屋の場所がすぐわかる

## 連載 ポイント解説 向日市の歴史

鈴木 健弘

### 第3回 向日町（その1）

来年10月、我が向日市が市制40周年を迎える。しかし市制が古くからの住民の皆さんにどのように受け入れられ、日常の生活や喜びや生き甲斐に結びついて来たのだろうか。改めて考えさせられる昨今である。思えば私が、大阪の豊中から当地へ引越してきた昭和37年（1962年）

は、乙訓郡向日町は、ようやく長年の「京の食の素材供給処」色を抜けて、新たに且つ積極的に京のベッドタウンとして歩み続ける、人口2万3~4千人のとても静かな町だった。

その後、どんどん人口が増え3万人を超える状況の中、町から市への発展の機運が熟すると、当市がご存じのように乙訓郡2町1村（向日町、長岡町、大山崎村）を合併し、1市とするか、それぞれに独立するかについては、町民のアンケートの結果をまって決定することとなった。現状を冷静に考え、さらにもう1つ京都市編入も提案し、世論を重視する町職員の了解を多くの町民の前で得た。しかし、京都市編入案は無視され、アンケートからは外されていた。昭和47年（1972年）のことである。この回答は未だにきていない。